

素質でありまして、私共氣をつけなければならぬかと思ひます。

これで私の種々の子供を題する講話を終りますが、最後に一言申し上げます。私共親として子供の事につきましては種々氣になる。氣になつて呉ればその子供の缺點は次から次へこ心付く。勿論親は子供の缺點に就て十分明かに知つて居らなければなりません。うつかりして居てはなりません。併ながら一體世の中にそんなに理想的な完全な子供は澤山にあるものではありません。そんなに悪いこいふ譯でもありません。そこで理論的に、理想的に、缺點として考へられまして、その子供はその子供としてのやはり事實の存在でありますから、妾りに理想を以て、妾りに理窟を以てばかり責めないで、其子供に對する理解を申しますか、同情を申しますか、さういふものを元として子供を育て、行かなければならぬと思ひます。以上子供のいろいろの缺陷のみを續けて申しました故に最後に斯ういふ事を以て私の話の全體の締め括りさせていただきます。

(大了)

たより

○いつの間にやらはや五月、新緑の候になりました。春から工を急いで居りましたこちらの遊園も殆んぎ出來上り、植込んだ許りの木々も綠を増して來ました。これでやうやく新園が整つたので御座います。何卒お通りすがりの節は御立寄り御覽下さいませ。「新園寄せがき帖」のカットは庭園を表はしたものです。

○申しおくれましたが、當園の徳久さんが去る三月、市内の幼稚園へ轉任され、その後小島そのさんを迎へました。此の方は、前にこちらにゐられた事があります。曾つて本誌で紹介申上げた「お茶の水人形座」一座中の「その八」さんで、舌切雀のおばあさんはこの優の當り藝です。

○いま一人この四月に迎へました。本會の夏期講習でおなじみの遊戯の戸倉ハル先生が本校の教授になられました。同じ校内に、三浦先生、戸倉先生、幼稚園遊戯界の權威者お二人を持つた幸を機として、近日兩先生と座談會を開くことにしました。何れ次號に御報告申し上げます。